

3. 勾当台公園の再整備に向けた視点について

勾当台公園の現況を踏まえ、再整備に向けた視点を整理した。

関連施策の中で必要となる視点	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台市基本計画 ・ 緑の基本計画 ・ 勾当台・定禅寺通エリアビジョン ・ 本庁舎建替 ・ 定禅寺通活性化 ・ せんだい都心再構築プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民広場や定禅寺通の連続性確保 ・ 賑わいの創出、回遊性の向上、歩いて楽しめる都市空間の創出、運用（イベント時の表小路の運用など） ・ 新本庁舎低層部、敷地内広場の整備 ・ 空間づくりに向けた調整・提案 ・ 庁舎建替えとともに、「緑の回廊」の連続性の確保 ・ 持続可能性、グリーンインフラ推進に対応した施設整備、再構築

再整備に向けた視点	
(1) 歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「養賢堂」「四ツ谷用水」などの歴史的資源の継承 ・ 公園のランドマークであるヒマラヤシーダの保全、象徴性の確保 ・ 歴史的なモニュメント（歴史の広場）の配置場所や展示方法の改善
(2) 用途地域・交通等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通施設（地下鉄、路線バス）と公園の連続性確保 ・ ウォーカブルまちなか空間形成への寄与
(3) 公園・緑地・街路樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台市都心部の貴重な公園として、定禅寺通で結ばれている西公園・錦町公園との機能のすみわけ、連携
(4) 自然環境（地形・植栽）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な地形の変化の保全・活用 ・ 樹木や花壇の適正管理
(5) 景観	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定禅寺通を軸とした緑の景観の保全 ・ 定禅寺通や勾当台通の緑の景観軸（歩道空間）と公園との一体的整備
(5) 公園施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園施設の計画的な機能維持・更新 ・ 彫刻・モニュメントの再配置、ベンチ・照明施設などの統一感 ・ 水路や壁泉の利活用、維持管理方法の検討 ・ 民間活力を活用した施設の効率的な管理運営
(6) 利用（日常、イベント）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西公園、錦町公園との空間・利用特性に合わせた勾当台公園の利活用空間の拡充 ・ 公園内の3つの広場ごとの利用イメージ（ターゲット、機能）の整理 ・ 公園内での受動喫煙対策検討
(7) 動線アクセス手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定禅寺通・東二番丁通・一番町四丁目商店街からのアクセスの確保、回遊性の確保 ・ 高低差や階段等に対するバリアフリー対応
(8) 防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災時に対応した空間としての機能確保

【視点1】

関連事業・計画とまちづくりへの寄与

- ① 勾当台・定禅寺通エリアの中心部として多彩な交流を形成
- ② 定禅寺通と一番町四丁目商店街の2軸の交差による結節点
- ③ 本庁舎建替え・低層部との整合

【視点2】

勾当台公園の特性

- ① 勾当台公園の歴史性の継承
- ② 3つの広場の機能連携と回遊性
- ③ 市民広場の利活用の推進
- ④ 公共交通の結節点
- ⑤ 防災機能の確保

【視点3】

公園施設の機能充実・更新

- ① 歩行空間の安全性・バリアフリーの確保
- ② 成長した樹木、老朽施設の修繕・リニューアル
- ③ 新本庁舎との一体的な景観形成
- ④ 新たな公園機能の導入
- ⑤ グリーンインフラとしての機能形成

【視点4】

公園運営

- ① 情報発信機能の向上
- ② 官民連携(PPP)等の導入
- ③ 多様な主体が協働するパークマネジメントの導入
- ④ ブランディング